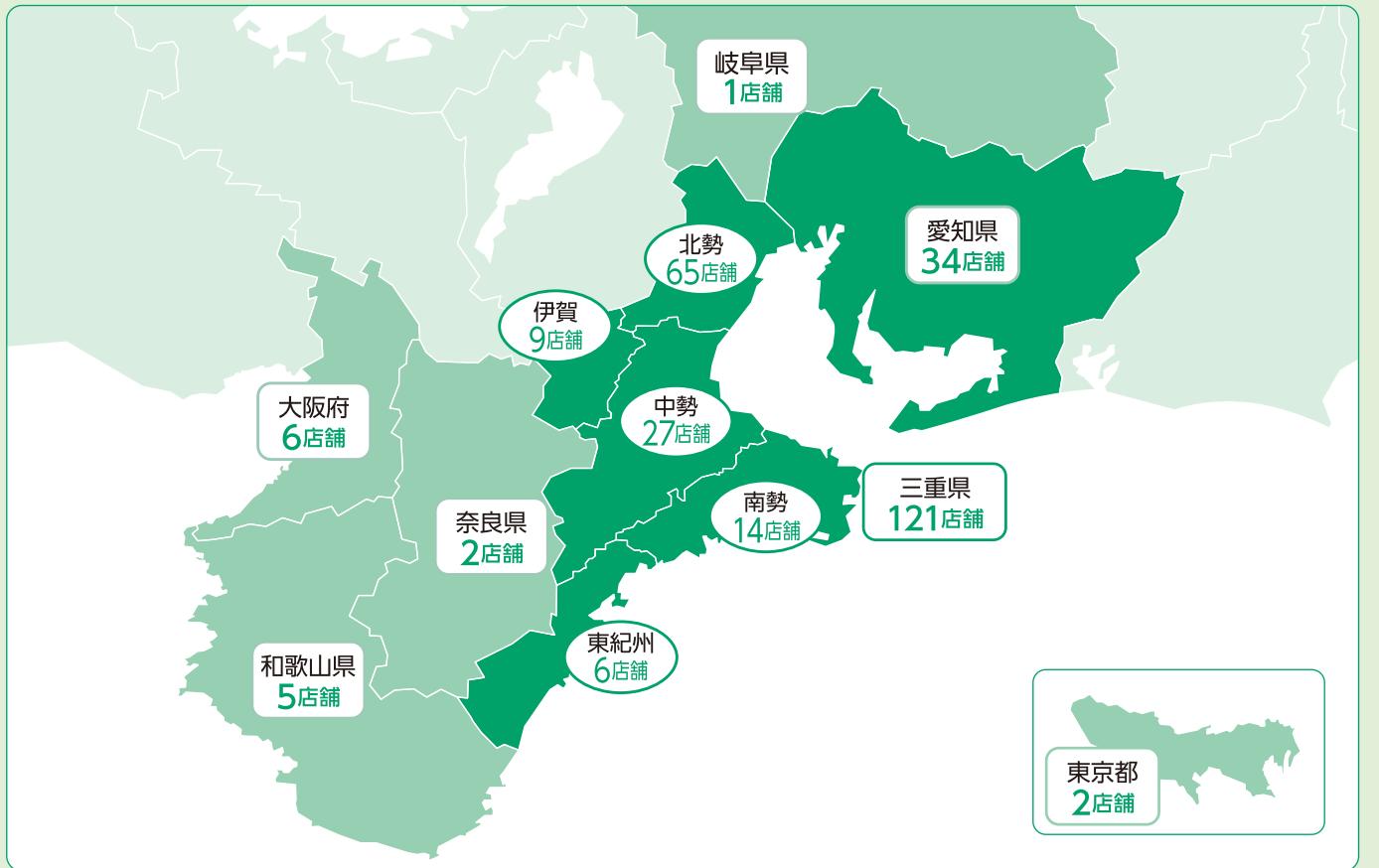


店舗ネットワーク



店舗数	三重	北勢	中勢	南勢	伊賀	東紀州	愛知	名古屋市内	名古屋市外	大阪	和歌山	奈良	岐阜	東京	合計
三重銀行	57	43	6	3	5	—	16	8	8	1	—	—	—	1	75
第三銀行	64	22	21	11	4	6	18	16	2	5	5	2	1	1	96
合計	121	65	27	14	9	6	34	24	10	6	5	2	1	2	171

※店舗数は2020年9月30日現在 (ローンプラザは除く)

ごあいさつ

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社は「地域のお客さまから愛され信頼される金融グループとして、地域とともに成長し、活力あふれる未来の創造に貢献します。」を経営理念として掲げ、2018年4月よりスタートした第1次中期経営計画(2018年4月～2021年3月)も、総仕上げとなります。

本計画では4つの基本方針である「リレーションの構築」「ソリューションの提供」「効率化と最適化」「強固な経営基盤の構築」を軸とし、統合効果を早期実現・最大限発揮しつつ、強固な経営基盤を構築することで、ビジョンとして掲げる「質の高い地域ナンバー1金融グループ」を目指し、地域経済の発展に向けた取組みをさらに加速させてまいります。

当社の子銀行である三重銀行と第三銀行は、関係当局の許認可の取得等を前提として、2021年5月に合併を予定しており、合併に向けた準備も順調に進んでおります。

今後とも一層のご支援とご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役会長
岩間 弘

代表取締役社長
渡辺 三憲

2020年12月吉日

株式会社 三十三フィナンシャルグループ

グループ概要 (2020年9月30日現在)

三十三フィナンシャルグループ

本店所在地 三重県松阪市京町510番地
本社所在地 三重県四日市市西新地7番8号
資本金 100億円
上場取引所 東京証券取引所第一部
名古屋証券取引所第一部

三重銀行

創業年月日 1895年11月15日
本店所在地 三重県四日市市西新地7番8号
資本金 152億95百万円
従業員数 1,290名

第三銀行

創業年月日 1912年10月20日
本店所在地 三重県松阪市京町510番地
資本金 374億61百万円
従業員数 1,321名

経営理念

シンボルマーク

地域のお客さまから愛され信頼される金融グループとして、地域とともに成長し、活力あふれる未来の創造に貢献します。



【コンセプト】

「33」をモチーフにした2羽の鳥のシンボルマーク。この2羽の鳥は三重銀行と第三銀行を表すとともに、地域のみなさまと三十三フィナンシャルグループを表現するものです。ともに大空へ羽ばたく姿は、地域と三十三フィナンシャルグループの成長と活力あふれる未来を描いています。

第1次中期経営計画 (2018年4月～2021年3月)

ビジョン

質の高い地域ナンバー1金融グループ

地域のお客さまと圧倒的なリレーションを構築し、お客さまの経営課題やニーズに対して、多様なソリューションを提供することで地域に貢献する信頼度ナンバー1の金融グループを目指します。

本計画の
テーマ

統合効果の
早期実現・最大化

強固な
経営基盤の構築

2018年4月～

2021年4月～

地域とともに成長し続ける

統合効果の早期実現・最大化
強固な経営基盤の構築

完全融合
本格的な成果実現
更なる挑戦

「三十三銀行」誕生に向けて

当社の連結子会社である三重銀行と第三銀行は、両行の強みを完全に融合し、金融仲介機能を高度化させることで、地域経済の活性化に貢献できる「質の高い地域ナンバー1銀行」を目指すとともに強固な経営基盤を構築することを目的として、2021年5月に合併し、「三十三銀行」の設立を予定しております。

沿革

三重銀行

1895年 四日市銀行設立
1939年 三重銀行に行名改称
1996年 東京証券取引所第一部上場
1998年 新本店竣工
2015年 創業120周年



第三銀行

1912年 熊野共融合資会社設立
1927年 三重無尽株式会社に組織変更
1967年 熊野市から松阪市へ本店移転
1989年 第三銀行に商号変更
1989年 東京証券取引所第一部上場
2012年 創立100周年



三十三フィナンシャルグループ

2018年4月 経営統合により共同持株会社「三十三フィナンシャルグループ」設立

2021年5月 三十三銀行 設立予定

合併の要旨

合併効力発生日	商号	本店所在地	資本金
2021年5月1日	株式会社三十三銀行	三重県四日市市西新地7番8号	374億円

合併の相乗効果

三重県、愛知県、及び近接広域地域における強固な営業基盤の拡充

両行の強みを活かした総合金融サービス提供による金融仲介機能の強化

経営の効率化・最適化による収益力と企業価値の向上

合併前



共同店舗化の拡大 (2020年11月)

効率的な店舗運営のため、東京での共同店舗化に続き、グループ2拠点目として三重銀行名古屋法人営業部と第三銀行名古屋支店も共同店舗による営業を開始しました。



各種共同施策の実施

合併に先立ち、各種セミナーーやキャンペーンの共同実施のほか、新卒採用活動や研修の共同開催、メール便の共同運行等を取り組んでいます。



合併後の店舗体制

両行合併から2年間で、近接している店舗については30拠点程度を「プランチインプランチ化」による店舗統合を予定しています。



*複数の支店が1つの店舗内で営業を行います。支店名・支店番号・口座番号の変更はございません。

会員組織の統合 (2020年5月)

会員組織である「三重銀経営者クラブ」と「さんざんビジネスクラブ」を統合し、新たに「三十三ビジネスクラブ(略称: 33BC)」を発足しました。研修会や講演会のほか、企業経営に関するコンサルティング、情報誌等のサービスを提供しています。



新任・若手営業担当者向け研修会

関連会社の商号変更

グループとしての一体感をより強め、業務上の連携を一層強固なものとし、お客さまへの更なるサービス向上につなげることを目的として、右記の関連会社の商号を変更します。

現商号
三重銀総合リース株式会社
三銀コンピューターサービス株式会社
三銀ビジネス・サービス株式会社
株式会社三重銀カード
三重銀信用保証株式会社

新商号	変更予定日
三十三リース株式会社	2021年3月1日
三十三コンピューターサービス株式会社	2021年3月1日
三十三ビジネスサービス株式会社	2021年3月1日
株式会社三十三カード	2021年5月1日
三十三信用保証株式会社	2021年5月1日

*上記以外の関連会社(株式会社三十三総研、三重リース株式会社、三重銀コンピューターサービス株式会社、第三カードサービス株式会社、三重総合信用株式会社)の商号は変更いたしません。

SDGsへの取組み

三十三フィナンシャルグループSDGs宣言

三十三フィナンシャルグループは、経営理念「地域のお客さまから愛され信頼される金融グループとして、地域とともに成長し、活力あふれる未来の創造に貢献します。」のもと、企業活動を通じて国連が提唱するSDGs（持続可能な開発目標）の達成に貢献することで、持続可能な社会の実現に努めてまいります。



1. 地域経済の持続的発展への貢献

事業性評価に基づく融資や創業支援、事業承継、販路拡大、地方創生等、お客様の課題やニーズに応じた最適なソリューションの提供に努めてまいります。



「33FGビジネスプランコンテスト」の開催

三重県・愛知県で創業・新事業展開を予定している法人・個人を募集し、2019年度は102件の応募がありました。このうち11件を表彰し、グループ全体で事業化に向けたサポートを行っています。



従来、三重銀行と第三銀行のそれぞれで次世代の経営者向けセミナーを開催していましたが、2020年度は「次世代経営者育成塾」として合同で開講しました。次世代の経営を担う若手経営者21名の方に参加いただいています。



「Biz-Create」との連携開始（2020年11月～）

株式会社三井住友銀行が日本電気株式会社（NEC）と共同で運営を行うビジネスマッチングサービス「Biz-Create」の連携を開始しました。オンライン上で三重銀行、第三銀行、三井住友銀行のお客さま同士が、相互にニーズを発信・閲覧・商談することにより、地域を超えた様々な企業との出会いが可能となります。



NTT西日本三重支店と連携協定を締結（2020年10月）

西日本電信電話株式会社三重支店（以下「NTT西日本」）と「地域活力の創出と地域経済の発展等に関する連携協定」を締結しました。ICT・DXに強みを持つNTT西日本と、金融・コンサルティング力を保有する33FGが、双方の持つ資源・ノウハウを有効に活用して、地域社会の課題解決に取り組んでいきます。



2. 持続可能な地域社会の実現



地域の文化活動、福祉活動およびスポーツ振興の支援や金融リテラシー教育等の提供に努めてまいります。

「三十三フィナンシャルグループNPO応援基金」の開催

「NPO応援基金」として、地元NPO団体に寄付を行い、活動を応援しています。

2020年度は「環境保全」「次世代育成支援」「ダイバーシティ」を主な活動分野とするNPO団体に対し、総額100万円の寄付を実施します。

- 寄付金の使い道は自由です
- 寄付金活用後の報告は必要ありません



「国体・大会パートナー」として応援

2021年に三重県で開催される「三重とこわか国体・三重とこわか大会（全国障害者スポーツ大会）」に寄付・協賛金2千万円を寄贈し、「国体・大会パートナー」として応援しています。



「お絵描きコンテスト2020」の開催

次世代を担う子どもたちが「食」に関する絵を描くことを通じて、食べることの楽しさ・大切さや、家族の大切さを見つめ直してもらうために「お絵描きコンテスト2020」を開催し、三重県内各地から1,592点に上る多数の応募をいただきました。



スポーツ振興による次世代育成支援

地域のスポーツ振興による次世代育成を図ることを目的として、小学生を対象としたサッカー、ティーボール、ミニバスケットボールなどスポーツイベントの開催・協賛等を行っています。

2020年度は、9月に「33FG杯 第8回三重県小学生ティーボール選手権大会」を開催しました。



33FG杯 第8回三重県小学生ティーボール選手権大会



3. 地域の環境保全



地域における環境活動や環境に配慮した金融商品・サービスの提供に努めてまいります。

■ 御在所岳山頂での植樹支援 (2020年10月)

2011年より継続して、御在所ロープウェイ株式会社ならびに認定NPO法人森林(もり)の風が行っている御在所岳の樹木の保全活動に協力しています。2020年度は御在所岳山頂での植樹活動への支援を行いました。



■ 「熊野古道定期」にかかる寄付金贈呈

お客様からお預けいただいた「熊野古道定期」の残高に応じて2005年より毎年寄付を行っており、寄付金は東紀州地域振興公社を通じて、世界遺産である熊野古道の保全活動に活用されています。



4. 働きがいのある職場づくり



女性の活躍支援をはじめ、性別や年齢を問わず全ての職員が働きがいを持って活躍するための人材育成や労働環境整備等に取り組んでまいります。

■ 「テレワーク制度」の導入 (2020年9月~)

働き方改革に加え、感染症流行時や災害発生時の業務継続手段としてテレワーク制度を導入しました。在宅勤務や自宅近隣の支店などへの出勤を可能とすることで、生産性やワークライフバランスの向上に取り組んでいます。



5. 健全経営の実践



コンプライアンスの遵守やリスク管理体制の強化を図り、健全経営の実践に努めています。

■ 取締役会のバランス・多様性

2020年6月に社外取締役を2名増員(うち女性1名)し、社外取締役の構成比を3分1以上に高め、監督機能の強化に努めています。

新型コロナウイルス感染症への対応



三重銀行と第三銀行では、お客さまの健康安全を最優先に新型コロナウイルス感染症拡大防止に取り組むとともに、お客さまの資金決済や事業資金の支援など、金融サービスの提供に迅速かつきめ細やかに対応しております。

■ 感染拡大防止に向けた主な取組み

- 職員のマスク着用、毎日の検温・体調チェックの励行
- 飛沫抑止アクリル板等の設置
- ロビー待合席の間引き
- 時差出勤、テレワーク、スプリットチーム体制
- 研修、会議でのWeb会議システムの活用



飛沫抑止アクリル板の設置

ロビー待合席の間引き

■ お客さまへの支援体制

- 全営業店に相談窓口の設置
- 融資返済条件変更手数料の免除
- 「資本性ローン」の取扱い開始
- 名古屋市の「中小企業金融ワンストップ連携機関」に認定
- 日本政策投資銀行との「災害対策業務協力協定」の締結
- 「近畿中部広域復興支援投資事業有限責任組合」への出資



三重県が実施する「新型コロナ克服みえ支え“愛”募金」の趣旨に賛同し、検査と医療体制の見直しに有効利用いただけるよう寄付金1千万円を寄贈しました。

■ インターネットや郵送等で利用可能な銀行のお手続き

営業店の窓口にご来店いただくことなく、お手続き可能な各種サービスを拡充しております。

- 住所変更手続き
- 普通預金の口座開設
- 振替・振込
- 残高確認、入出金明細の確認
- 個人ローンの事前審査申込
- 各種資料請求

詳しくは両行のホームページをご覧下さい。

▼ 三重銀行

<https://www.miebank.co.jp>

▼ 第三銀行

<https://www.daisanbank.co.jp>

等

ご自宅で家族といっしょに楽しい時間を過ごしていただくため、ポムポムプリンのぬりえをwebからダウンロードして、ご利用いただくことができます。



© 1996-2020 SANRIO CO., LTD. APPROVAL NO.L 617070

業績ハイライト



三十三フィナンシャルグループ

(単位：億円)

科目	2020年9月期	
	実績	前年同期比
経常利益	32	△9
親会社株主に帰属する中間純利益	21	△7
自己資本比率	8.68%	0.16%

三重銀行・第三銀行 (2行単体合算)

科目	2行単体合算		2020年9月期			
	実績	前年同期比	三重銀行(単体)	第三銀行(単体)	実績	前年同期比
業務粗利益	235	△12	112	△3	122	△8
うち資金利益	190	3	88	1	102	2
うち役務取引等利益	37	△7	20	△3	16	△4
経費	192	0	93	2	99	△1
コア業務純益	40	△6	20	△4	20	△1
業務純益	11	△42	△9	△33	21	△8
経常利益	53	△7	24	△7	28	0
中間純利益	42	△3	17	△6	24	2

2020年9月期の業績につきまして、経常利益は信用コストが増加したことなどにより、前年同期比9億円減益の32億円となり、親会社株主に帰属する中間純利益は、7億円減益の21億円となりました。

貸出金残高 (2行単体合算)

2兆7,943億円

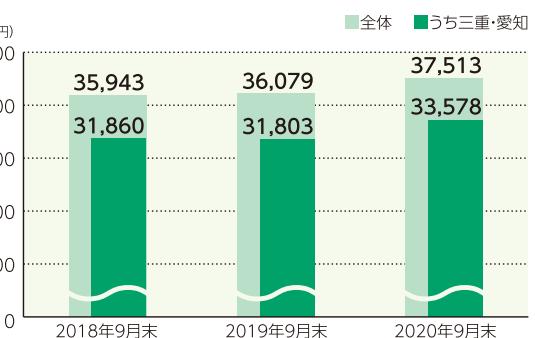
貸出金は、前年同期末比757億円増加しました。



預金・譲渡性預金残高 (2行単体合算)

3兆7,513億円

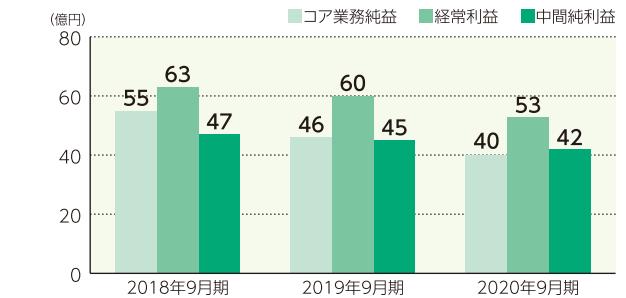
預金・譲渡性預金は、前年同期末比1,433億円増加しました。



利益 (2行単体合算)

コア業務純益
40億円
経常利益
53億円
中間純利益
42億円

コア業務純益は前年同期比6億円、経常利益は同7億円、中間純利益は同3億円、それぞれ減益となりました。



自己資本比率 (33FG連結・国内基準)

8.68% (連結)

不良債権比率 (2行単体合算)

2.14%

格付け

日本格付研究所(JCR)



業績ハイライト

三重銀行

貸出金残高

1兆4,525億円

貸出金は、中小企業向け融資を中心に増加し、前年同期末比499億円増加しました。



預金・譲渡性預金残高

1兆8,506億円

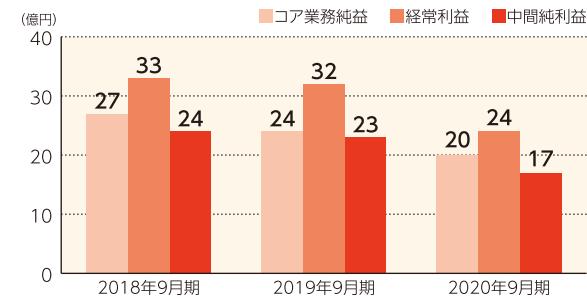
預金・譲渡性預金は、個人預金、法人預金ともに増加し、前年同期末比748億円増加しました。



利益

コア業務純益
20億円 経常利益
24億円 中間純利益
17億円

非金利収益の減少、信用コストの増加などによりコア業務純益、経常利益、中間純利益はそれぞれ減益となりました。



自己資本比率(国内基準)

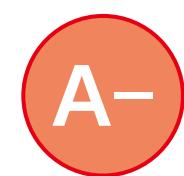
8.04%(単体) 8.22%(連結)

不良債権比率

1.48%

格付け

日本格付研究所(JCR)



第三銀行

貸出金残高

1兆3,418億円

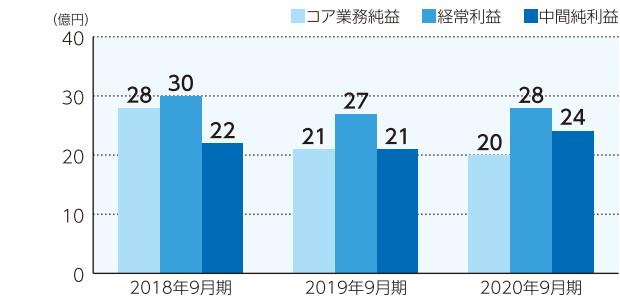
貸出金は、中小企業向け融資を中心に増加し、前年同期末比257億円増加しました。



利益

コア業務純益
20億円 経常利益
28億円 中間純利益
24億円

非金利収益の減少などによりコア業務純益は減益となりましたが、経常利益、中間純利益はそれぞれ増益となりました。



預金・譲渡性預金残高

1兆9,006億円

預金・譲渡性預金は、個人預金、法人預金ともに増加し、前年同期末比685億円増加しました。



自己資本比率(国内基準)

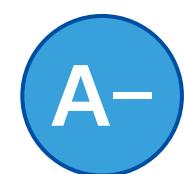
8.22%(単体) 8.37%(連結)

不良債権比率

2.85%

格付け

日本格付研究所(JCR)



株主・投資家の皆さんへ

■ IR・CR活動

投資家への情報発信活動（IR活動）として、毎年、東京で機関投資家等向け会社説明会を開催しています。また、地域への情報発信活動（CR活動）についても、毎年、お客さま懇親会を各地域にて開催しています。
なお、2020年度につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響によりお客さま懇親会は中止いたしました。



■ 株主優待制度

① 株主優遇定期預金

対象となる株主さま	基準日時点で当社株式70株以上をお持ちの株主さま
対象となる預金の種類	スーパー定期1年もの
適用金利	預入時の店頭表示金利+0.25%
預入金額	10万円以上、100万円以下
預入期間	1年
取扱銀行	三重銀行、第三銀行の窓口

※毎年3月31日、9月30日を基準日とします。（年2回）

■ 単元未満株式の買取（ご売却）・買増（ご購入）請求、住所変更等の各種お手続きについて

証券会社等に口座をお持ちの株主さま……お取引のある証券会社等にお問い合わせください。

証券会社等に口座をお持ちでない株主さま……右記の日本証券代行株式会社にお問い合わせいただくか、日本証券代行株式会社ホームページ（<https://www.jsa-hp.co.jp/>）上の「株式に関するお手続き」をご参照ください。

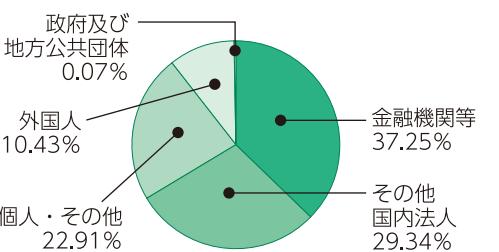
■ 未受領の配当金等に関するお手続きについて

当社の株主名簿管理人である日本証券代行株式会社にお問い合わせください。（[0120-707-843](tel:0120-707-843)）
(未受領の配当金につきましては、日本証券代行本支店及び三井住友信託銀行本支店でお支払いいたします。)

■ 株式の状況（2020年9月30日現在）

発行済株式の総数	30,367,585株
普通株式	26,167,585株
第一種優先株式	4,200,000株
株主数	
普通株式	13,505名
第一種優先株式	1名

■ 普通株式所有者別分布状況（2020年9月30日現在）



■ 大株主の状況（2020年9月30日現在）

普通株式

株主名	所有株式数(千株)	持株比率(%)
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	1,405	5.37
銀泉株式会社	1,062	4.06
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	863	3.29
SMBC日興証券株式会社	840	3.21
株式会社日本カストディ銀行(信託口4)	818	3.12
株式会社三井住友銀行	776	2.96
第三銀行職員持株会	642	2.45
三重銀行従業員持株会	495	1.89
株式会社みずほ銀行	445	1.70
株式会社日本カストディ銀行(信託口9)	415	1.58

※1. 所有株式数は、千株未満を切り捨てて表示しております。

※2. 持株比率は、小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。

第一種優先株式

株主名	所有株式数(千株)	持株比率(%)
株式会社整理回収機構	4,200	100.00

■ 株式のご案内

- 事業年度……毎年4月1日から翌年3月31日まで
- 定時株主総会……毎年4月1日から3ヶ月以内に開催いたします。
- 定時株主総会の基準日……毎年3月31日
- 公告の方針……電子公告により行います。

【公告掲載URL】<https://www.33fg.co.jp/>
(ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。)

● 上場証券取引所……東京証券取引所市場第一部
(普通株式)
名古屋証券取引所市場第一部

● 証券コード……7322

● 1単元の株式の数……100株(証券市場での売買単位)

● 株主名簿管理人……日本証券代行株式会社
(特別口座管理機関)
東京都中央区日本橋茅場町一丁目2番4号

日本証券代行株式会社 代理人部
〒168-8620
東京都杉並区和泉二丁目8番4号

郵便物送付先
及び
電話お問い合わせ先
電話 0120-707-843(フリーダイヤル)
受付時間(平日9:00～17:00)

■ ホームページによる情報開示

当社のホームページを開設しております。財務・IR情報、株式関係情報、ニュースリリースなどホームページからご覧いただけます。

三十三フィナンシャルグループ

検索

<https://www.33fg.co.jp/>